

# 磯部城跡(安中市)

築城年代:永禄5年(1562年)、築城者:武田氏

南東側から見た磯部城跡



南側からの入口がある/城址は城山公園となっている



入口を入ってすぐ左手に駐車場がある/前方に説明坂があるようだ





# 史跡 磯部城址



## 歴史

この磯部城は、正治三年(1201年)4月の頃に、佐々木盛綱入道西舎の旧跡と伝えられているが、城址をみれば、鎌倉初頭のものでないことは明らかで、おそらく武田信玄が永禄五年(1562年)頃築いたもので、東500メートルにある文珠寺の砦はのろし台跡であろう。

## 構造

磯部城址は標高250メートルの山城で完全な遺構を残している。頂上には本丸・二の丸が西東に並び三の丸はその南面にある。本丸と二の丸は堀切りで区別され土橋で連絡されている。その堀切りの余土は西側に盛られて高さ2メートルの高土居になっているので、西の郭が本丸と考えられる。

三の丸→馬出し(双馬出し)→本丸南下の腰曲輪→二の丸→本丸→櫓台→東側の帯曲輪と  
進んでみよう



城址も含めて丘陵全体が公園となっているようだ





まず、ここから三の丸を目指す



途中、こんな歌碑があった



左手は南回りの本丸ルート、右手が二の丸・三の丸方面



こちらは南回りの本丸ルートだが後程行ってみよう



右手の二の丸・三の丸方面へと進む/右手に濠が見える



こんな塩梅/標柱が立っている



これは正面の三の丸を取り巻く濠(空堀)



左手の三の丸を取り巻くように濠が巡っている



その先はこんな塩梅/左手が三の丸



その更に先もこんな塩梅/所謂、横堀



振り返って見たところ/前方は三の丸への虎口



三の丸へと進もう/右手が三の丸への虎口



前方が三の丸/手前が虎口



振り返って見たところ/正面に一寸した平場がある/左手が進んで来た方向



その左手を見たところ/濠が見える



ここが三の丸/何んとなく右傾斜の平場



その左手を見たところ/三の丸の向こうのマウンドは櫓台



その更に左手を見たところ/この道を進むと二の丸方向に行けるようだ



今進んで来た虎口を見たところ



さて、二の丸へと進むと左手に双馬出しがある



これは二の丸手前の濠を渡る土橋



左手から二の丸への虎口を見たところ



右手を見たところ/濠の左上が櫓台



土橋を濠底から見たところ/前方の上部は二の丸



こちらが双馬出し/この先には本丸南下の腰曲輪がある/前方右上が本丸



左下が双馬出しで右手が土塁と本丸の城塁の間の濠/前方に腰曲輪がある



腰曲輪へと進むと手前に濠がある



右手からその濠を見たところ



反対側から見たところ/前方は本丸の城塁



そこから左手を見たところ/この濠が続いている/右端が二の丸への土橋



この先を見たところ/右下は双馬出し



右下の双馬出しを見たところ



さて、ここが本丸南下の腰曲輪



本丸(右手)を回り込んでそれなりの平場になっている



南側から本丸城壘を見たところ



左手を見たところ



右手を見たところ



振り返って南下を見ると更に何段かの腰曲輪がある



さて、二の丸への虎口から二の丸へと進んでみよう



振り返って虎口を見たところ



左手が二の丸、右手は物見平(檜台)



こちらが左手の二の丸/前方は土塁となっており、その更に向こうは本丸/右手に覆屋が建つ



虚空蔵菩薩とある



その覆屋の背後にはさまざまな石造物があった









さて、これは南西側から北東方向に見た二の丸/左手の北側にも低い土塁が回っている



こんな塩梅



これは二の丸南側から双馬出しを見下ろしたところ



その左手を見下ろしたところ/二の丸への虎口が見える



同じく右手を見下ろしたところ/濠と土塁が二の丸から本丸の城壘に沿って回っている



さて、これは二の丸から西方向の本丸を見たところで、中央やや左手に本丸への虎口がある/その両サイドは土塁(高土居)



ここが虎口



右側から左方向を見たところ/二の丸(左手)と高土居との間は濠(大分埋まってしまったようだが)



笹が繁茂して表示もこんな有様



反対側から見たところ



さて、これは虎口から本丸内部に入ったところ/笹で一杯



振り返って虎口を見たところ



左手に高土居を見たところ



これは田村神社と記されている



この表示も笹藪に埋もれている



磯部城本丸跡



更に笹藪を掻き分け西方向に進む



するとここは搦手筋虎口/右手に標示が埋もれている



搦手筋虎口跡と記されている



虎口を出て、振り返って搦手筋虎口を見たところ



虎口を出て左手に下って行くと南出口(駐車場の所)に至るようだ



一寸下りてみるとこんな塩梅/一番先の左手に行く道が南出口に行くようだ/すぐ手前の左に行く道は本丸南下の腰曲輪へと続く



反対にこちらの本丸北側に行く道は二の丸の北側へ至るようだ



その道を進んでみよう/笹藪の中に田村神社の屋根が見える



さて、物見平(櫓台)へと進もう





ここが物見平(櫓台)



表示に檜台とある



そこから南方向を見下ろすと濠と土塁そしてその向こうに三の丸が見える



振り返って北方向を見たところ



そこで左手(二の丸とその先の本丸)を見たところ



右手を見たところ/櫓台を取り巻く濠が見える/その先は土塁の向こうに帯曲輪が展開しているようだが竹藪ではっきり見えない





その濠に下りてみよう/北側から廻り込む



右手に下りると濠が見えて来る





左手に下って行くと広場があるようだ



右手に行くと三の丸へ至る



これは横堀となっている/右手が櫓台、左手は土塁でその更に左手が帯曲輪らしい



濠を進むと三の丸が見えて来る



藪化しているが前方が三の丸/濠は右手の櫓台の城壘に沿って右手に回り込んで二の丸への虎口へと続いている



そこで振り返って今来た濠を見たところ/左手が櫓台、右手は土塁でその更に右手には帯曲輪がある



これは三の丸で前方に櫓台を見たところ/櫓台の左手が二の丸への虎口



そこで振り返って、最初に見た三の丸を取り巻く濠を見下ろしたところ



さて、残っていた南回りの本丸ルートを進んでみよう



前方は本丸の城塁で、手前に濠と土塁がある





その濠を右手から見たところ/左手が土塁、右手が本丸の城塁



近くにはこんな歌碑があった



濠と土塁は本丸の城壘に沿って右手に回り込んでいる



その先はこんな塩梅で、これが南回りの本丸ルート



そこで本丸の城壘を見上げたところ



右手に濠と土塁を見たところ/左手が本丸の城塁



さて、南回りの本丸ルートを西方向に進む/右手が本丸の城壘/左手は急峻な斜面



西端で右手に回り込む



その先はこんな塩梅



右手を見ると本丸の城壘を登って行く道がある



そこを登ると、前方は先に見た本丸の搦手筋虎口



そこで右手を見ると本丸の城壘を東方向に行く道がある/この先に本丸南下の腰曲輪がある



参考ホームページ

<http://iyokakuzukan.la.coocan.jp/003gunma/107isobe/isobe.html>

<http://otakeya.in.coocan.jp/info01/isobean.htm>

<https://senjp.com/isobejyo/>

<http://www.hb.pei.jp/shiro/kouzuke/isobe-jyo/>

[https://blogs.yahoo.co.jp/s04hi992ma/35910824.html?\\_yosp=56Ov6YOo5Z%2BO6Leh77yI5a6J5Lit5biC77yJ](https://blogs.yahoo.co.jp/s04hi992ma/35910824.html?_yosp=56Ov6YOo5Z%2BO6Leh77yI5a6J5Lit5biC77yJ)

<http://www.geocities.jp/sisin9monryu/gunma.annaka.html>

<http://gunmahoyadi.cocolog-nifty.com/blog/2015/06/post-1.html>

<https://blog.goo.ne.jp/hanako1033/e/4f5ea4169630a85482b2306c1dce3a71>

[http://castle.slowstandard.com/10kanto/17gunma/post\\_830.html](http://castle.slowstandard.com/10kanto/17gunma/post_830.html)

[http://53922401.at.webry.info/201211/article\\_15.html](http://53922401.at.webry.info/201211/article_15.html)

